

1 本館

◆一條彰子

[東京国立近代美術館の半世紀]連載20「教育普及活動のあゆみ—京橋時代」/
『現代の眼』541号

教育普及レポート「夏休み!こども美術館」/『現代の眼』542号

教育普及レポート「米館者とともに見る・考える—MOMATガイドスタッフによる所蔵品ガイド」/『現代の眼』544号

◆大谷省吾

「地平線の夢 序論」、章解説、作家・作品解説、関連年表/『地平線の夢—昭和10年代の幻想絵画』展カタログ

◆藏屋美香

「旅—『ここではないどこか』を生きるために」、『旅』をめぐるキーワード+作家解説/『旅—「ここではないどこか」を生きるための10のレッスン』展カタログ

「国吉康雄の不思議な空間」、作品解説/『国吉康雄展』カタログ

[東京国立近代美術館の半世紀]連載18「教育普及活動のあゆみ—友の会について(1)」/『現代の眼』539号

[東京国立近代美術館の半世紀]連載19「教育普及活動のあゆみ—友の会について(2)」/『現代の眼』540号

展覧会予告「旅—「ここではないどこか」を生きるための10のレッスン」/『現代の眼』541号

展覧会予告「国吉康雄展」/『現代の眼』543号

◆鈴木勝雄

野見山晁治年譜『野見山晁治展』カタログ

「自然の探訪者—明治30年代の雑誌メディアと風景」/『東京国立近代美術館研究紀要』第8号

◆都築千重子

「野見山晁治—生成する絵画」、章解説、文献目録/『野見山晁治展』カタログ

展覧会予告「野見山晁治展」/『現代の眼』540号

◆中林和雄

「洋画」と今日」、章解説/『受容と発展 花ひらく近代洋画』展カタログ

◆中村麗子

「麦僮の庭—土田麦僮《舞妓林泉》について」/『現代の眼』543号

◆古田 亮

「『美術と音楽』によせて」/『現代の眼』540号

◆保坂健二郎

「『旅』をめぐるキーワード+作家解説」/『旅—「ここではないどこか」を生きるための10のレッスン』展カタログ

◆増田 玲

「同時代の中の牛腸茂雄」、「牛腸茂雄の言葉」/『牛腸茂雄展』カタログ
作品解説/『国吉康雄展』カタログ

◆松本 透

展覧会予告「ヨハネス・イッテン—造形芸術への道」/『現代の眼』542号

◆三輪健仁

「20世紀前半の絵画における文字(1):パウル・クレー」/『東京国立近代美術館研究紀要』第8号

講演会報告「《花ひらく木をめぐる抽象》—パウル・クレーの反復の芸術—」/
『現代の眼』543号

◆金子賢治

「石黒宗麿研究」/『東京国立近代美術館研究紀要』第8号

[東京国立近代美術館の半世紀]連載21「工芸館開設とコレクションの形成」/
『現代の眼』544号

◆諸山正則

展覧会予告「現代の木工家具」/『現代の眼』540号

「家具という新たな造形表現と工房家具」/「現代の木工家具」展カタログ

展覧会予告「所蔵作品展 近代工芸の名品一花」/『現代の眼』543号

「所蔵作品展 近代工芸の名品「花」によせて…“花三態”」/『現代の眼』544号

◆今井陽子

作品研究「人形の虚実—平田郷陽の制作」/『現代の眼』541号

◆唐澤昌宏

作品研究「河本五郎—挑戦と反逆の造形」/『現代の眼』542号

◆木田拓也

「オーストラリア現代工芸三人展:未知のかたちを求めて」/「同時開催 所蔵作品展 近代工芸の名作—友禪と型染」/同展フロアガイド

展覧会予告「あかり—イサム・ノグチの光の彫刻」/『現代の眼』541号

「杉田禾堂《用途を指示せぬ美の創案 原始期・過渡期・完成期》について」/
『現代の眼』544号

「あかり—イサム・ノグチが作った光の彫刻」/「あかり:イサム・ノグチが作った光の彫刻」展カタログ

◆北村仁美

展覧会予告「三代藍堂 宮田宏平展—金属造形の先駆け」/『現代の眼』539号

作品解説「三代藍堂・宮田宏平」展カタログ

「松田権六資料の基礎的研究」/『研究紀要』第8号

展覧会予告「所蔵作品による近代工芸の名作 アール・デコの精華」/『現代の眼』544号

◆富田康子

展覧会予告「所蔵作品展 近代工芸の百年」/『現代の眼』542号

「工芸の近代—「工芸再評価」の言説をめぐる1990's以後の素描」/「近代工芸の百年」展フロアガイド